

平成16年度 合併後一般会計 付帯決議をつけ可決 103億5千万円認める

平成16年度予算審議の結果 付帯決議5項目を付して決定した

付帯決議

- ①合併の効果が具体的に発言されるよう、十分に意を払われたい。
- ②国と地方を通じた三位一体改革に対応可能な行政組織・体制の構築に向けた具体の取り組みをされたい。
- ③町税・負担金等の滞納解消については、緊急の対応が求められている。効果的な取り組みと整理をされたい。
- ④事業執行にあたっては、公正公平と町民の一体性の確保に細心の意を払われたい。
- ⑤予算審議の過程において、指摘した事項については、今後の行政執行に反映されたい。

議会の経過

12月定例会は、12月10日から24日までの会期で、町条例の改廃、諮問案件等44議案と、一般

会計、特別会計補正予算9件を審議し、いずれも原案可決承認した。一般質問は13日、14日の2日間で、全議員が行う。

一般会計予算

厳しい財政から活性化策編成

本予算編成は、旧町の通年予算から平成16年9月30日までの決算額を控除した額を新町の予算として編成されている。

給食センター整備、東中学校外3校プール改修、生涯学習推進等）八億六千八百六十八万円。

内容は②高齢者等保健及び福祉の向上・増進事業。（せらにしデイサービスセンター改修・介護老人保健施設整備・世羅町保健福祉施設駐車場整備・福祉バス運行等）

◎産業の振興事業（ほ場整備、水路、農業公園、畜産施設等整備、商工会助成事業、中山間地域等直接支払、食とふるさと推進、四季園にしおた整備、転作関連事業等）十五億一千三百四十九万六千円。

◎医療の確保事業（公立世羅中央病院負担等）二億九千四百六十五万円。◎教育文化の振興事業（スクールバス運行、タイケン学園、誘致事業、甲山小学校校舎建設、

◎交通通信体系の整備、情報化及び地域間交流の整備事業（町道及び農道・林道の整備、情報化システム等）十二億七千九百七十四万八千円。◎生活環境の整備事業（上・下水道、消防、公営住宅、庁舎改修等）三億五千七百九十九万六千円。

旧3町独自の特別会計事業予算大枠認める

国民健康保険、老人保健、簡易水道、農業集落排水、上水道、公共下水道、特定環境保全公共下水、介護保険、各事業の特別

会計予算は、旧3町の持ち寄り予算の計上、公平公正と町長の今後の一体性の確保維持のため、提案通り認める。

12月定例会

補正17億円（16億6千万円
町づくり振興基金に積立）
総額120億5千万円

予算審議

きびしく
チェック

Q 新山線林道災害工事は何故、一般財源か。

A 平成17年査定予定、補助金未定のため、全体六千万円見込む。

Q 町づくり振興基金の使途は、又10年後の財政の考え方は。

A 使途は考えていない。今後の検討課題とする。

Q ゴミ収集委託（千四百万円余）の内容と収集の状況はどうか。

A 旧3町収集ヶ所設置の仕方に差異があるため一定の時間をかけて統一を図る。

Q 教育費、通学助成の減の要因は。

A 旧世羅西町分の補助額が確定し減額となった。

Q 国土調査費の減の要因は。

A 平成16年実施分の入札減によるもの。

Q 中山間地域等直接支払の減額の理由は。

A 平成15年分は旧甲山町分牧草地廃業による。平成16年分については、ほ場整備減歩分である。

Q 行刑施設設置要請活動の状況は。

A 旅費、図面等に係る費用を計上し今後も運動をつづける。

Q 畜産振興費の減は。

A 吉浦牧場分で、国の補助対象外となった。平成17年度対象となる見込み。

Q 除雪作業委託はどの程度か。

A 積雪20cm以上ですが一律にはできない。

Q 財産処分の方法（賀茂住宅分）進入路の扱いと使用通行については。

A 賀茂住宅敷地、通行路は町有地、消火栓も同様。

議員提案

発議

「食材・農業・農村基本計画」見直しを求める意見書

●要旨

食材・農業・農村基本法に基づき、食料自給率の引き上げを基本に、食の安全・安定に結びつく施策を展開することが日本農業の再生には必要であり、実現を要請する。

平成17年度地方交付税所要総額の確保に関する意見書

●要旨

平成17年度の地方交付税は、平成16年度の先例を踏まぬよう、国と地方の信頼関係の構築に努め、少なくとも平成16年度以上の総額を絶対確保するよう強く要望する。

北朝鮮による日本人拉致事件の早期解決を求める意見書

●要旨

政府においては、北朝鮮外交の基本方針として「対話と圧力」を打ち出しているが当然のことである。今回判明した北朝鮮の許されざる虚偽の証拠資料提出に対して、厳重な抗議をすることは勿論、拉致被害者の徹底した消息究明、拉致事件の早期全容解明に努めるよう、強く求める。